

平成30年度一般会計決算 とことんチェック!

平成30年度一般会計決算は、9月6日に上程され予算・決算特別委員会に付託された。それぞれ、総務・産業建設・民生・教育の分野ごとの小委員会により詳細な説明・質疑を行い、18日に決算特別委員会を開催し全体の総括質疑を行った。また、24日の本会議で委員会の審査結果報告を受け採決を行った。
予算・決算特別委員会（委員長 伊谷 正昭）における主な質疑は次のとおり。

総務部門

問 消防団員の確保についての具体的な取り組みは、(徳田 文治議員)

答 (くらし安全環境課長) 消防団員の確保は、喫緊の課題として問題視している。今年度、消防団員と団員確保に向けた取り組みについて、議論をおこなっている。

問 指定管理者選定審査委員会の議論内容と見直しを含めた考え方を聞く。(徳田 文治議員)

答 (総務担当政策監) 今年度からは、外部委員だけで審査を行うよう検討している。審査結果の公表についても検討している。

問 地域おこし協力隊起業支援補助金の取り組みと成果は。(瀧 すみ江議員)

答 (まちづくり協働課長) 秦荘のやまいも振興を目的に活動している隊員を対象と

したもので、作付面積の拡大、収穫した30キロの一部を出荷し、やまいも振興に寄与している。



秦荘やまいも

問 部落解放・人権政策確立要求愛知郡実行委員会負担金について、何を目標としている活動されているのか。(瀧 すみ江議員)

答 (人権政策課長) 県内外の研修、運動の場で活動に参加しながら、人権救済制度の確立に向けて運動すると共に、強く要求していく。

問 自治会活動保険の地元負担を、保険料の半額に引き下げることに、検討する考えはないか。

答 (まちづくり協働課長) 保険料は、毎年度入札により変動している。今後の保険料の変動を見ていく中で検討していく。実績は、3自治会で6件(賠償3件・傷害3件で18,000円)である。

問 税の滞納処分強化によって、基本的な人権は尊重されているのか。(瀧 すみ江議員)

答 (税務課長) 納税者の生活に配慮している。

問 税の滞納繰越分の調定額は、前年度未収額と

なっていない箇所がある。(西澤 桂一議員)

答 (税務課長) 約1年間の間に更正申告等により当初調定額と決算の調定額に齟齬が生じたものである。

問 職員互助会補助金見直しの検討結果はどうか。(西澤 桂一議員)

答 (経営戦略課長) 30年度は、会員1人当たり8,000円で、今年度は6,000円に減額した。

問 ①指定管理の総額は。②指定管理選定評価委員会の検証結果、施設のサービス向上に関する評価について、いつを目途に結論を出すのか。(西澤 桂一議員)

答 (総務担当政策監) ①16施設で2億1,900万円である。②審査委員会については、今年度外部委員のみで構成する委員会で検討を進めており、今年度中に評価の公表を行う。

問 ①ゆめまちテラスエッチの1日も早いオープンの際は。②東部防災センターの設計費が、今年度予算に反映されていないのは、どのような考えか。(外川 善正議員)

答 (町長) ①様々なイベントが開催され、多くの住民に利用いただいている。②工事費の高騰により、検討のうえ、予算化を見送った。

問 財政の硬直化を見ると、経常収支比率だけを見るのか。(辰口 保議員)

答 (総務担当政策監) 財政健全化に関する法律により4指標が用いられる。

問 ゆめまちテラスが町の顔になるべき施設づくりの考え方を聞く。(辰口 保議員)

答 (まちづくり協働課長) 中間報告で今あるものを最大限に活かすという基本理念を示され、町にある伝統工芸

民生部門

問 待機児童対策は、保育士の確保と養成が必要と考えるが、保育協議会の取り組みについて尋ねる。(徳田 文治議員)

答 (子ども支援課長) 保育協議会では、問題の課

問 小さな拠点におけるリーダー育成業務委託の具体的な取り組みと成果・課題について聞く。(瀧 すみ江議員)

答 (福祉課長) 自治会対象として、サロン・居場所づくりを展開していたり、当初は、初年度15万円の補助をしている。

問 学童保育所の指導員確保と現在ほどのような状況か。(瀧 すみ江議員)

答 (子ども支援課長) 現在は、パートの支援員、補助員で運営していただいている状況である。今後の運営の中で、常勤で正規の雇用は必要であると考えている。



小さな拠点における活動風景